

テーマ「国語の受験準備」

■何をする…

「国語って何をすればいいの？」
よくある質問です。文章を読んで答える国語のテストに対して何をすればいいのかわからない。

問題集に取り組む？本を読む？

ありきたりの話ではつまらないと思いますので、今回は学年末ということで、この時期だからこそ、受験に備えての国語の学習についてお伝えしていこうと思います。

■記録をとる

今年1年の国語の学習記録を作ってみませんか？

学習計画を立てることは声高に言われますが、学習記録を残すことは声が小さくなりますね。計画はその通りにならないことがあって、ちょっと残念になることがあります。学習したことを記録に残すと、学習したという事実の記述になりますので、進めただけ蓄積されます。

「3年生の漢字 教科書P〇〇～〇〇

■という字が画数が多くて難しい」

こんな一言記録でもいいでしょう。その蓄積が受験で大きな自信になるのは確かです。

■まずは漢字！

前学年までの漢字書けるかな？

ありきたりと言えば、ありきたりです。でも、後回しにされるものの一つが漢字の学習です。定期的に漢字テストがあっても、「そのとき覚える」では何の役にも立ちません。

現学年もですが、前学年までの漢字が書けるのでしょうか。例えば、ちょっと作文、文章を書いてみて、書けるはずの漢字がきちんと書けているのでしょうか。問題集だけが学習ではありません。ちょっとしたメモ書きの中でも、漢字で書けることが大切です。その辺の確認をしてみませんか？

■毎日いろいろ考える？

考える習慣ありますか？

文章を読むことで大切なことは、自分のもつ現実と文章の内容を結びつけることです。「文章ではこう書いてある。確かにそういうこともあるよなあ…。」

「文章にはこう書いてあるけれども、実際にそんなことあるのか？こういうことってあるんじゃないか？」

攻める読みをするためには、毎日ものを考えることが大切です。日常生活で得る感覚を自分の言語として表すことは、受験には必要です。

■学校の教科書を読む

今年学習した文章をもう一度読み直してみよう！

なんだかんだで、教科書の文章はよく読むべきです。そして、読んで理解をするべきです。ところで、「理解」ができていますでしょうか…。教科書を読み直して、文章の内容を自分でもう一度まとめ直してみませんか？原稿用紙半分（200字）程度で大丈夫です。自分の言葉で、読んだ文章をまとめ直してみてください。「あれ？わからない？」という方は、…ご相談ください。

■まとめ

日常を大切に国語の学習をしてみよう！

1. 日常の中で漢字を書こう！
2. 今年度の教科書を読み直す！
3. 記録をとる！
4. 考える、そして言葉にする！

国語の学習には即効性はありません。しかし、後でブーストを効かせることはできます。その土台作りこそ今の時期にぜひ進めてもらいたい、国語の受験準備なのです。